

## 第2学年〇組 学級活動(1)指導案

日 時:令和6年〇月〇日(〇)第〇校時

場 所:2年〇組教室

授業者:〇〇 〇〇

### 1 議題 「修学旅行で出会う人たちに感謝を伝える方法を考えよう！」 (ア 学級や学校における諸問題の解決)

#### 2 議題について

##### (1) 生徒の実態

本学級の生徒は明るく活発で、素直な生徒が多い。自分の気持ちを素直に表現する生徒がいる一方で、考えを持っていても言葉にするのが苦手でなかなか発言できない生徒もいる。また意見が多く出てもお互いに譲り合うことが多く、時間内に意見がまとまらないことがある。

これまで本学級では「〇組だけの体育祭の応援を考えよう」「合唱コンクールを盛り上げる工夫を考えよう」「2年〇組スポーツ大会をしよう」などの議題で学級会を行い、学級への所属感を高めてきた。

しかし、事前・本時・事後の活動を通して学級活動委員が主体的に行動することや、さまざまな意見や考えを深め、折り合いをつけて合意形成する場面はまだ多く見られない。自分の考えを生かしながら、仲間の意見を尊重し、「自分もよく、仲間もよい」という一歩踏み込んだ工夫について考えることが難しい課題がある。

##### (2) 議題選定の理由

本議題「修学旅行で出会う人たちに感謝を伝える方法を考えよう！」は、4日後に控える修学旅行を学級独自の工夫で、さらに学級の仲が深まり思い出に残る学校行事にできるのではないかと考えるから選定した。「2学年の合言葉『人を喜ばせて生きよう』を修学旅行でも実践し、そこで出会う人たちに言葉や行動で感謝を伝えよう」という気持ちで修学旅行に臨み、その取組を通して学級の仲が深まる思い出作りをしたい」という生徒の提案によるものである。他に「2学期最後のレクをしよう」「カードゲーム大会をしよう」の提案もあったが、学級活動委員からの「4日後に迫る修学旅行をさらによい学校行事にするために、クラスで気持ちをひとつにしたい」という考えのもと、今回の議題に選定され、その後学級全員に諮り決定された。本議題のねらいが達成されると、学級の仲が一層深まり、修学旅行が最高の思い出となるものと考えている。

#### 3 研究課題との関わり

##### (1) 研究課題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

##### (2) 研究の視点

主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり

～特別活動の「見方・考え方」を働かせた話し合い活動の充実～

##### (3) 研究課題解決のための仮説と手立て

仮説	生徒たちが自身の考えを持った上で学級会に参加することで、学級会での意見が深まり、これまでの経験を生かして、仲間と合意形成を図ったり意志決定したりする場面を、より多く経験することができるだろう。
----	--

手立て①ホワイトボードを活用し、学級会当日の協議題等を事前に掲げることで協議内容

についての関心が高まる。

手立て②学級会ノートを活用し、事前に話合いの流れを知ること、学級会の時間の中で円滑に意見が発表できる。

手立て③学級会前、学級活動委員が仲間の学級会ノートを確認することで、学級会の流れを事前に把握する。

#### 4 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。 合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている。課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。	学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。

#### 5 事前の活動

日時 活動の場	生徒の活動 ○学級活動委員会 ●全員の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
○月○日(○) 放課後	○議題の中から今、学級で話し合うべき議題を2～3個選定する。	・議題を選定する際の視点について助言する。	◎よりよい学級生活を目指し、進んで議題を考えたり決めたりしている。【態】(観察・提案カード)
○月○日(○) 帰りの会	●議題を決定する。	・学級活動委員の提案のもと、全員で議題を決定する。	
○月○日(○) 放課後	○活動計画を作成する。(提案理由、めあて、話し合うこと、決まっていること、役割分担等) ○教室の背面黒板にホワイトボードで掲示する。	・提案者の思いがクラス全員に伝わるように提案理由の練り上げを行う。 ・日時や場所、準備期間等の条件を設定する。 ・前回までの反省を生かすという視点について助言する。	◎学級活動委員の役割や学級会の進め方を理解している。【知】(活動計画、観察)
○月○日(○) 帰りの会	○話し合うことを全員に知らせる。 ●学級会ノートに自分の考えを記入する。	・話し合うことや決まっていることが共通理解できるように助言する。 ・提案理由に沿った意見を考えるように助言する。	

○月○日(○) 放課後	○回収した学級会ノートを確認し、意見を整理する。 ○短冊を用意する。	・話し合いの見通しをもつことができるようにする。 ・必要に応じて、短冊の記入をしておく等の助言を行う。また、意見の分類をしておく。	◎議題に関心を持ち、進んで自分の考えをまとめている。【態】(学級会ノート)
----------------	---------------------------------------	--	---------------------------------------

## 6 本時の展開

### (1) 本時のねらい

よりよい学級生活をつくるため、自分の意見をしっかり伝え、学級の仲間の考えも生かし合いながら、修学旅行に向けて感謝を伝える取組を考えることができるようにする。

### (2) 指導計画

活動の計画	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿【観点】(評価方法)
1 はじめの言葉 2 学級活動委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の確認	・前回の学級会についてふれ、本時のめあてを確認する。	
<p>【提案理由】修学旅行まであと4日となりました。ここまで多くの準備をしてきた修学旅行を、さらに思い出に残るものにするために『人を喜ばせて生きよう』という2学年の合言葉を修学旅行でも達成したいと考えました。私たちの修学旅行にかかわってくれた人たちへ自分たちの言葉や行動で感謝の気持ちを伝える取組を○組全員で行うことで、さらに学級の仲が深まると思い提案しました。</p>		
5 決まっていることの確認 6 話し合いのめあての確認 7 話し合い 話し合うこと① 「感謝を伝える方法を考えよう」 話し合うこと② 「修学旅行にかかわる人たちにより感謝を伝えるための工夫を出し合おう」 話し合うこと③ 「役割分担を決めよう」 8 決まったことの確認 9 振り返り 10 教師の話 11 おわりの言葉	<p>・本時の目的や提案理由を全員が意識した状態で話し合いが進められるよう助言する。</p> <p>・「出し合う」「比べ合う」「まとめる」の3段階で決められるように事前に指導する。</p> <p>・意見が出ない場合は、事前に決めたペアやグループの形で話し合う時間をとることを助言する。</p> <p>・学級活動委員へのねぎらいと、前回の話し合いと比較してよかった点などを伝え、実行へ向けて活動意欲を与える。</p>	<p>【思考・判断・表現】 ◎提案理由に基づいた、クラスメイトとの絆を深めるための工夫を考え、よりよい学校生活へと繋げていくための取組を、理由を示して述べている。(観察)</p> <p>【態度】 ◎話し合いの中で仲間のよいところを見つけノートに書いている。(学級会ノート)</p>

7 事後の活動

日時	生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
【○月○日 (○) 帰りの会】	・決まったことを背面 黒板等に掲示す る。	・全員にとってわかり やすく書くように助 言する。	
【○月○日(○) ～○月○日 (○)】	・全員で決めたことを 実践する。		◎目標を意識し、学級の仲 間と協力しながら実践に 取り組んでいる。【思】 (観察、振り返りシート)
【○月○日 (○) 帰りの会】	・実践についての振り 返しを行う。	・話合いや実践のよか った点や課題等をま とめるよう助言す る。	◎修学旅行を振り返り、全 員で決めて実践するよさ を感じ、次の活動に生か そうとしている。【態】(観 察、振り返りシート)

8 備考 在籍生徒数 ○人